

# 観光まちづくりかわら版

富士山と湖と高原のまち—日本の湖水地方—

富士河口湖町の観光に関する興味深い情報やまちづくり情報などを紹介するかわら版です。

## 平成22年度 観光まちづくり企画提案事業の企画提案を公募します

このたび、観光振興支援室では、住民の皆様自身の手による観光まちづくり活動を支援するため、「観光まちづくり企画提案事業」を実施することにいたしました。

この「観光まちづくり企画提案事業」は、平成20年度に策定された「富士河口湖町観光立町推進基本計画」の主な施策の一つ「住み良いまちを自らの手で楽しみながらつくる機会づくり」の一環として行うもので、まちづくり、環境、外国語等の様々な分野で観光まちづくりに関わる人材が組織する団体の立ち上げや実際の活動、また諸団体の連携等について支援することを狙いとした活動支援制度です。

住民にとって暮らしよく、観光客にとって魅力的であるような観光まちづくりを実現するには、住民が自らの創意工夫に基づき主体的に地域資源の活用を進め、生き生きとした交流が数多く展開されることが不可欠です。

本事業では、このような観光まちづくり活動を自ら企画し実行しようとする住民団体等の皆さまの創意工夫あふれる企画提案を公募し、富士河口湖町の観光立町の推進に大きく貢献すると判断される企画の実施を支援することにより、住民主体の観光まちづくりを強力に推進します。支援金額は一つの事業に対して最大で20万円、応募締切は7月15日です。

詳しい応募要領は観光課観光振興支援室で配布しております。また、町のホームページ(<http://www.town.fujikawaguchiko.lg.jp/>)にも掲示しておりますのでご覧ください。

また、提案に際すご質問・ご相談などありましたら、下記連絡先までお気軽にお問い合わせ下さい。

住民団体等の皆さまの柔軟な発想と創意工夫を生かした企画提案を心よりお待ちしております。

## ハーブフェスティバルがリニューアルされます！

平成4年に初めて行われた河口湖ハーブフェスティバルは、今年で19回目を迎えます。今年も6月18日(金)から7月11日(日)の24日間、湖畔のラベンダーの開花時期に合わせ、八木崎公園と大石公園の2会場を中心に展開されます。

このように長年親しまれているハーブフェスティバルですが、一方ではイベント内容を改めて見つめ直し、さらなる魅力アップを図っていく必要があることから、昨年度は専門家の診断を中心とした「魅力アップ調査」を実施し、花の空間の魅力向上や会場設営の改善などからなる魅力アップ・プランがまとまりました。

今年のハーブフェスティバルでは、この調査をふまえて様々な魅力アップを行います。ここでいくつかの新しい魅力をご紹介します。

- **地ビールフェスタ** 八木崎会場において、「富士山・河口湖地ビールフェスタ」と銘打ち、北海道から鹿児島まで全国各地の地ビールメーカーの出品により、約30銘柄の地ビールを味わうことができるビアガーデンが行われます。
- **中央テントの小型化と花による会場装飾** 八木崎会場で使用していた中央の大型テントを小型化し、富士山やラベンダーの眺望を優先した開放感のある会場にします。また、町内のハーブ愛好者の協力も得ながら、会場内の様々な箇所を花で飾っていきます。
- **キラキラ☆河口湖夏物語** セタの時期に合わせた7月3日から7日の5日間、大池公園を中心に、キラキラ☆河口湖夏物語実行委員会による新たなハーブフェスティバル関連イベントとして行われます。会場には大きなセタ飾りが登場し、特別町民の清水國明さんや、玩具コレクターの北原照久さんによるステージイベント、新鮮な野菜を販売する朝市やグルメ市など、楽しいイベントが盛りだくさんです。



地ビールフェスタ イメージ写真

今回のハーブフェスティバルは、リニューアルにより新しい試みなども取り入れこれまで以上に楽しみいただけるイベントとなっております。町民の皆様もぜひご来場ください。